

ふらたなす

第 49 号

天使大学同窓会

編集発行
 天使大学同窓会事務局
 〒065-0013
 札幌市東区北13条東3丁目1番地30
 電話/FAX 011-712-1088
 天使大学同窓会ホームページアドレス
<http://www.tenshi-dousoukai.org>
 年一回発行

平成25年2月28日現在、同窓生会員総数 9,473人

「地の塩 世の光」



平成25年度同窓会講演会 荒川義人先生 (栄養学科教授)



恵みのマリア様



学生ラウンジ



平成25年度天使大学同窓会総会

同窓会の願いと発展を

めざして



同窓会会長
衛生看護科二十三回生

稲葉佳江

今期の同窓会理事会活動も最終年となりました。三年間の活動に対して同窓生の皆さまの多大なご支援を頂いたこと、さらに共に歩んだ役員皆さまに感謝申し上げます。

同窓会で活動したこの三年間、学生時代にシスターから学び、心に刻んだ「愛をとおして真理へ」の建学の精神、さらに卒業時には「地の塩、世の光」の同窓会の理念のもとに社会へと飛び立った当時のことが思い出される日々でもありました。カトリック精神の支柱である「愛」の精神は時代や多様な価値を超えて、寛容であり、公正・正義であり、知性

そのものであると教えて頂きました。卒業生の一人一人が、「人として」どう生きるべきか、自分の生き方をみつめ、愛の精神を日々追求し実行することで社会の「塩」となり、人々の「光」となるようにとの願いが込められていたのだと思います。これらの教えは、一人一人に与えられた場と機会において自分自身を適切に用い、社会や人々の役に立つ行いを通して、不変の人の道(真理)を得ることだと理解しています。卒業当時からすでに四〇年以上が経過し、この間に社会は大きく変化しています。キリストの教えが二〇〇〇年以

上の幾多の時代を経ながら、また混沌とした社会情勢の中にあってもその時代の人々の苦しみに応え心の支えであり続けているように、母校が建学の精神「愛をとおして真理へ」の模範となり、変化し続ける社会と時代、そして今と未来に生きる人々のニーズを感じ取る「愛」の実行者として正義と知性を育む環境であってほしいと願っております。ここ数年の天使大学での出来事について、同窓会役員をはじめ約一万人の同窓生が母校を心配し、一日も早い健全な大学運営と教育の再生を望んでいます。

さて、今期の同窓会は左記の事業を手がけ、同窓会の発展と母校への支援を行いました。その一つは、在学生に対する奨学金制度です。今年度の募集では、栄養学科の学生一名の応募がありました。今後は多くの学生が応募できるように、募集期間などを検討課題に考えています。

二つめは、支部との連携、同窓生同士の絆を強化するために、今年度総会において支部のブロック制を提案し承認されたことです。九月には世話人の方にご参集頂き、第二回支部長会議を開催しました。同窓生の皆さま一人一人がどこかのブロックに所属することになります。世話人の方には担当ブロックに在住する同

窓生の名簿を配付しています。各ブロックの担当者からお便りがいくと思えますので、在住地域での同窓会活動に積極的に参画し、同窓会発展にご助力頂きたいと思えます。

三つめは、会計管理を最も煩雑に行っている維持会費の見直しを継続して行っていることです。今年度の総会において、維持会費の年会費制、単年度処理、年齢規制の廃止などを提案しましたが、継続検討となりました。現行規程では学部卒業生は卒業一〇年間、納入義務免除となっています。その卒業生も維持会費の納入義務が発生する年度になり、年間二〇〇名以上の卒業生分を事務処理することになり、同窓会事務局の大きな負担になっていきます。次回の総会でも維持会費の現行方法の変更については提案していきたいと考えています。

最後に、天使大学が「これからも社会に求められる大学」であり続けるために、母校の存在意義を発信し続けている教職員方々の日々の努力に敬意を表すとともに、同窓会会員のご協力に改めて感謝し、今期同窓会会長の役を終えたいと思えます。天使大学同窓会が真に自律し発展し続けるために、今後とも皆さまのご支援をよろしくお願い致します。

「天使大学の発展と母校への感謝をこめて」



天使大学学長
丸山 知子

二〇一〇年四月に学長職を拝命してから任期四年間の終わりを迎えます。四年間の学長職において、創立者マリアの宣教者フランシスコ修道会が目的とした「愛をとおして真理へ」(建学の精神)の継承のあり方について思索し、その精神を具現することを旨として、震災支援プロジェクトの立ち上げやレシピア集の発刊をして参りました。

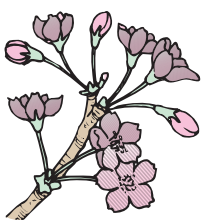
同時に、学長として大きな課題は「天使大学の伝統と行事」に関する事でした。ここに、二〇〇九年四月に天皇后陛下とご結婚五十年の記者会見のあり、「皇室の伝統」についてお応えになった両陛下のお考えに大変共鳴致しましたので引用させていただきます。

『伝統があることは力強く、古い伝統をそのままの形で残すことも大切であるが、一方、型のみで残った伝統が社会の進展を阻んだり、古い慣習で人々を苦しめることもあり、伝統には表に現れる型と内に秘められた心の部分がある。伝統の問題は、次世代にゆだねていくもの』というお立場を示していらっしゃいました。

さて、天使大学の伝統について卒業生の皆様はどのようにお考えでしょうか。短期大学の時代から、両学科共通で行われていた修養会や合唱コンクール等は、内容の一部は変化しつつ現在も継続しております。しかし、多くの卒業生が大切にしているのは、生涯をかけて修道会のシスター達が残して下さった「他者への思いやり」の精神と行動ではないでしょうか。私達はその精神を継承しつつ、形は急速に変化する社会の状況に適合させながら、発展させていくことが大学の使命ではないでしょうか。

大学教育の中心は学生であり、各々の学生が自らの目標と課題を達成できるようなハード・ソフト共に大学環境を整える必要があります。学生は現代そして未来の社会を担う大切な存在であり、時代の流れをキャッチしながら、前進する大学でなければなりません。めまぐるしく変化する社会と他大学との競争の中に否応なしに立たされていることを認識することが大切です。今後、シスター達が築かれた精神をその時代の流れに合わせながら継承して頂きたいと願っております。同時に、大学にとって同窓会は、客観的、社会的立場から積極的にサポートする存在であってほしいと考えております。社会の大学に対する期待、他大学の動向や実態にも目を向け、母校の変革に積極的に参加して頂きたいと思っております。同窓会の社会活動の活発化は、大学の質を保証する一助として大きな存在となります。同時に在学生や巣立っていく後輩達と直接話し合い、先輩として支える関係を整える等、大学と同窓会が協働して教育環境づくりをして頂きますようお願いいたします。

最後になりましたが、四年間のご協力に心から感謝申し上げますとともに、同窓会の益々のご発展を心からお祈り申し上げます。



懐かしい卒業生の皆様へ

マリアの宣教師フランシスコ修道会
元学長
樋口桂子

札幌の地を離れて二十年、再び北海道に戻って参りました。卒業生の皆様お変わりございませんでしょうか。「ぷらたなす」に寄稿を頼まれまして紙上でご挨拶できますことを嬉しく思っております。

現在の天使大学は、建物も内容も充実しており、私が勤めておりました頃とは格段の相違で感慨深まうございます。これもひとえに、引き継がれた恩人、教職員、卒業生の方々のご努力の賜ものと感謝一杯でございます。只今、私は天使大学の後援会の役員の一人として関わっておりますが、先日会議の折に、今年入学した学生のご父兄で役員の方が、「子どもが憧れの天使大学に入学できたことを、親として誇りに思っております」と話しておられました。

波風激しい昨今の天使大学であっても、このようなご父兄や学生の存在は、大きな力となることをあらためて感じ嬉しいことでした。

先日、ふと目にした「心のともしび」のパンフレットの中に、今は亡きシスター寺本のこととわかる一文があり、彼女の「老いてな

お看護婦」という著作の中に「看護が好きである。何故だろうか。人の苦しみ、悲しみの傍に居ることによって、いつも自分との闘いが求められ、その結果が、成功、不成功を問わず、充実感があり、人間との深いかわりの中でお互いに成長出来るからである」と書いています。とありました。「人間としての成長」はこの世での最後の時まで、私たち人間の課題であり、目標であると思います。神の似姿につくられた私たち人間が、造り主のみ心になう人間として、日々努めていきたいものです。年を重ねる毎に思いますことは、身体的には段々とお返りする部分が多くなつて参りますが、聖パウロが語っているように、「神の恵みと力が弱さの中でこそ十分に発揮されるように、自分の弱さを誇りましょう。わたしは弱い時にこそ強いからである。」と。皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

平成二十五年十二月八日
天使大学創立記念日に

松宮英視先生(八十七歳)が
逝去されました

学校法人天使学園理事長
近藤潤子

松宮先生は、一九八九年(平成元年)北海道大学医学部教授を定年退官後、同年に天使女子短期大学教授に就任され、微生物学などご専門の分野を教授してくださいました。一九九六年(平成八年)、学校法人天使学園理事に松宮先生と私が就任しました。それから平成九年までの間にそれまで理事・評議員であった修道女の方々が任期満了になられ、現在の法人の理事・評議員に交代しました。

松宮先生はその最初の理事長に選任され、一九九七年(平成九年)一年間は、短期大学学長を兼務されました。一九九八年(平成十年)から近藤が学長として、松宮理事長のもと、二〇〇〇年(平成十二年)大学への改組転換、二〇〇四年(平成十六年)専門職大学院助産研究科の開設、二〇〇六年(平成十八年)大学院看護栄養学研究科修士課程の開設、二〇〇八年(平成二十年)



博士課程の設置を進めました。この間に六号館、七号館、八号館の三棟の建設が完了しました。二〇〇八年十二月に健康上の理由で辞職されるまで、松宮先生は、短期大学

から大学への改組転換、大学院の開設、必要な校舎等の整備など、この十年間の本学園事業の進展を温かく見守り推進してくださいました。在任中、後半の数年は、パーキンソン病のため、歩行が次第に不自由になりましたが大変なご努力で責務を果たされました。松宮先生の行動をとおしてたくさんの学びがありました。たとえば、公私の別を明確にされ、帰宅のタクシーを呼ぶには、必ず公衆電話を使われ、決して大学の電話を使用されませんでした。穏やかな、温かい雰囲気でも多くの方に慕われました。毎年、三月のひな祭りには桜餅とうぐいす餅を教職員一同で頂きました。マリアの宣教師フランシスコ修道会が大切に育ててくださった天使学園の教育事業を引き継ぎ、短期大学から大学へと改組転換を大過なく進めることができたのは、神様の大きな御恵みと、卒業生、本学関係者の皆様様の大きな希望と強い熱意、松宮先生のお力によるものと思います。

生涯を正しく立派に生き抜かれ、天使大学のステップアップを推進してくださいました松宮先生が、安らかに憩われますように、私たちの感謝の気持ちを神様が松宮先生に届けてくださいますようにお祈りくださいますようお願い申し上げます。

各委員会から

副会長

栄養科二十二回生

野原 純子

天使大学同窓会理事 三年を終えて

同窓会運営の難しさを痛感した三年間でした。

新しい選挙制度や会則・細則の執行でスタートした当初と比較し、整備や整理が必要な部分が見られ、少しずつですが今までの役員は、改善へ向けて努力し実践してきました。常に念頭に置いてきたことは、「開かれた同窓会」です。

今何をしているのか、今の問題点は何か、これから何をするのか、さらに会員の協力・動向、大学との連携などを発信し歩んできました。

また、その動きの中で組織の再考が今後の課題と考えています。

「理事」「委員」「クラス幹事」「代議員」などの役割を明確にし、すっきりと、かつ強靱な組織を目指さなければなりません。幸い今年度の総会で、支部体制(ブロック制)づくりが承認され、札幌周辺と地域(道内および道外)の繋がりが今まで以上に出来つつあります。本部組織と支部組織の繋がりが強固になれば、若い会員や全国で活躍している会員の声がもっとも届くことになります。力になると思います。期待しています!!

庶務理事

栄養科二十八回生

本間 裕子

第一期、第二期の六年間、庶務理事を勤めさせていただきました。

同窓会の組織固めの大事な時期に、庶務という大切な役に就き、全く素人の自分に何ができるのかと問い続けた六年間でしたが、諸先輩方の温かいご指導の下、ミスばかりではありましたが何とか勤めることができました。久しく忘れていた『天使らしさ』

を思い出し、同窓生の温かさ、母校を見守る強い思いを間近で感じながら、私自身、楽しく勉強させていだいた時間でした。これからは一会員として少しでも協力できたらと思います。ありがとうございます。

研修部理事

栄養科十八回生

西尾 久美子

平成二十五年八月二十五日に、同窓会十勝支部の総会と研修会への参加、また十月二十日には支部活動の一環として行なわれている「男の料理教室」にも参加しました。そこでは活発な支部活動が社会貢献として地域に定着していることが感じ取れました。同窓会の活動といえは多くが年齢の高い方々に頼ってしまいがちですが、十勝支部では、二十代、三十代の若い世代も参加していました。年齢の違い、

仕事を持った方や主婦の方など様々ですが、会員の和気あいあいとした雰囲気は、そのまま多くの参加者にも伝わり、会長さんを中心にした会員皆様の努力に頭が下がります。他の支部でも、小さな一歩がやがて地域に根付くことになるかもしれません。まずは集うことからでしょうか。本部からの支部助成金を利用してください。

事業部理事

栄養科二十七回生

渋谷 みえ子

任期終了にあたって

不安ながらも引き受けました同窓会の理事職、無事に一期目を終了いたしました。当初、同窓会の活動・役割など何も分からない状態でしたが、理事会への出席を重ね、稲葉会長はじめ、各理事・委員の方々に助けていただきながら、任期を終えることが出来、感謝申し上げます。

事業部の新しい取組みとして、平成二十四年に従来の奨学生の枠を広げた、新しい「天使大学同窓会授業料貸与制度」を確立し、奨学生の募集を実施いたしました。結果は平成二十四年度は応募者〇、平成二十五年度は応募者一名、決定一名でした。この「天使大学同窓会授業料貸与制度」は、周知・準備の遅れや、連絡の不備などで予想のほか応募者が少なく残念なことでした。平成二十六年度は、より多くの学生がこの制度

に応募いただけるよう、新入学生を迎える迄には万全の形で準備し、周知徹底を行うことで改善が進められます。

同窓会に係ることで、これまでの多くの卒業生の「母校支援への気持ち」と、多額の「同窓会会費」を預かり運営して行くことの責任の重さ、厳しさを痛感すると同時に、同窓会は「卒業生」そして「母校」のために何が貢献できるかを模索し、考案構築に力を注ぐことが大切と考えさせられた三年でした。今後、一人でも多くの同窓会生が「同窓会活動」にご理解とご協力いただければ幸いです。

会計理事

厚生科二十回生
専攻科六回生

川村 紀美子

自身の能力も理解せず、安易に御引き受けしてしまいました。皆様の寛大な御心で何とか任期を終える事ができました。心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

広報担当理事
厚生科十三回生

仙庭 ミナ

三年間の広報部委員会活動を終わらせて

三年前の総会で二回目の同窓会本部役員をお引き受けして今日まで来

ました。前回と同じ広報委員会の仕事を引き受けましたが、思うような活動も出来ないまま退任の時期を迎えてしまい、会員の皆様には何かとご心配やらご不満をお掛けしましたこと心よりお詫びいたします。広報の大きな仕事は、同窓会誌ぷらたなすの発行です。各号ごとに各地で活躍されておられる同窓生の皆様にご無理を願って原稿を書いていただきました。総会終了後に何時も原稿を書いていただけそうな同窓生の方を見つけたことから仕事が始まります。栄養学科・看護学科に偏らないようにとお願いするのですが、なかなか固辞されてお願いできない状態が続きますと、委員さんが汗を流してお願ひコールをします。ここでの原稿の集まる数によりその号の内容の充実度が決まりますので、委員さんの力の大きさに何時も感謝をして、担当理事は大船に乗った気持ちで業者さんとの打ち合わせを持つことが出来とても助かりました。委員さんの活躍が無ければ毎号全力を傾けた広報誌は出来ませんでした。この広報誌は、同窓生と同窓会本部との絆を保つとても大切なものだと思います。卒業同窓生も一人に届く状況です。何とか同窓生の皆様全員に必ず届くようにと願ひながら最後の発送をさせていただきました。三年間ありがとうございました。そしてこれからも同窓会広報誌の発行にご協力ご鞭撻ご指導を賜りますようお願いいたします。

感想

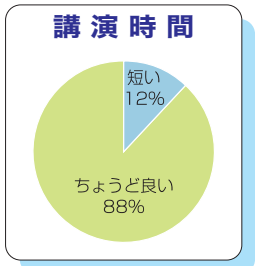
● 現在旭川在住で、旭川大学院で学んでいるので、地域貢献という視点で研究に取り組んでいる例をお聞きし、今後の研究の取り組み姿勢に参考になりました。意欲がわきました。● 新しい知見を得て、楽しい話でした。資料？ レジューメがあるとよかったです。

平成25年度の研修会アンケート結果についてお知らせします。 感想アンケートにつきましては、同内容の文章はまとめて記載させて頂きました。

天使大学同窓会 講演アンケート結果

2013年 (平成25年) 5月18日開催

同窓会出席者.....81名
アンケート回収.....25名



1. 講演時間	
ア・短い	3名
イ・ちょうどよい	22名
ウ・長い	0名
2. 講演内容	
ア・良かった	25名
イ・ふつう	0名
ウ・悪かった	0名

- 荒川先生のお話を聞けて、久しぶりに大学を思い出し、嬉しかったです。私たちがいたころよりも、地域や企業と一緒に取り組む活動が活発なようで、すごいなと思いつつながら、聞いていました。
- 食は、生きるための基本。食育教育、地域との活動、天使大、学生、卒業生など活躍している状況は、大変わかりやすく学ぶことができました。
- 解かり易い内容、学生との取り組みなど、聞いていて、今の学生たちがうらやましかったです。と同時に自分の頃は、あまり勉強しなかったと反省。今後のご活躍を期待します。
- あぐり王国は、とても面白いので、これからも毎回見ようと思つし、周りにも宣伝しようとおもいます。
- 日常に役立つ栄養の取り方、食品の見方が、とても勉強になりました。
- 食の大切さを今一度考えさせられました。(今の自分の食生活を振り返りました。大学の活動(学生の活動)がみえてうれしかった。同窓生の連携をもっと.....と願う次第です。
- 学生が、座学だけでなく、活きた学びを沢山して、生き生き輝いていることを伝えていただき、こちらも元気をいただきました。
- トドックを利用しています。いつもレシピが出ていて参考にしています。学生さんも頑張っているのと、学校の名前がでていて、頼もしく思っていました。裏話や、身近な話題で楽しかったです。

荒川先生への質問に 対する回答です。

① 冷凍野菜の栄養価

とくに酸化酵素の失活(ブランチングという水蒸気等による加熱処理)、急速凍結の後、酸素を遮断する包装、暗所でマイナス二十℃以下の一定温度保存できれば、栄養価(鮮度)はかなりの長期間維持できます。なかなか家庭の冷凍庫で条件を整えることが困難なため、生の状態より、その速度は遅延できますが、栄養価の低下が起きてしまいます。

② サプリメントについて

種類によりますが、補助効果は期待できると考えます。程度を適切に表現することは困難ですが、とくに不足している方にとっては有効です。逆に、不足していない方がサプリメントを摂取しても意味がありませんし、過剰摂取という別な心配が出てきます。話題になっているサプリメントとしてイソフラボンがありますが、大豆製品で摂取するとエストロゲン効果が期待できるとされていますが、サプリメントで摂るとホルモンバランスが崩れ、病気の発症に繋がるリスクが憂慮されています。他のサプリメントでも、本来に必要なかどうか、その活用には管理栄養士によるしっかりとした食事内容の分析が不可欠と考え、学生にも指導しています。

クラス幹事会から



栄養科二十二回生
天使大学同窓会 副会長

野原純子



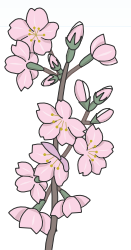
平成二十五年十一月三十日(土)、
クラス幹事会を開催しました。今回
は、総会に向けて任期満了となる代
議員三十名程度と選挙立会人の選出

でありました。欠員が出るブロッ
クより何名か推薦をしていただきまし
た。今後は、推薦された方々の承諾
を頂き、平成二十六年総会で承認
を得るという手順で進めてい
きます。

その中で野原より、現代議

員制の題点・課題について説
明し、今後検討していかなけ
ればならない現状を理解して
いただきました。二十六年
の総会に審議事項として提案
する予定であります。その他、
①本部の事業報告②九月に行
われた支部長会議の報告③天
使大学・新聞記事などについ
て話し合われました。お忙し
い中の出席、またご協力を頂
き感謝しております。

支部長交流会から



栄養科二十二回生
天使大学同窓会 副会長

野原純子



平成二十五年九月二十八日(土)
支部長会議を開催しました。今年度
の支部長会議は、例年と違い総会に
おいてブロック制が承認され、本
格的な体制づくりに着手した内容であ
りました。全国十三支部中十一支部
の出席があり、出席率の高さは本部
としては喜ばしいこと
でした。今までの支部は支
部長として、組織が出来
ていないところは連絡係
り(お世話係り)という
立場で出席していただき
ました。昨年同様、組織
づくりの必要性やブロッ
ク制の構築について会長
より説明を行い、それ
に対し各ブロックの意見・
声を聞き、共通理解を得
た会議となりました。そ
他では、代議員制の問
題を提起し各支部へ持ち
帰り、議論をして頂くこ

としました。
会議は交流の目的もあったため、
遠くは関東・関西の遠方から、また
道内各地から集まっていた地域
での活動状況、さらに現況の悩みな
どを分かち合い有意義な時間であ
ったと感じています。

各方面で活躍する 同窓生

二足のわらじは穿けるのか？

衛生看護科三十四回生
昭和五十八年卒

山田 浩子

看護科卒業後、最初の配属先となった天使病院の小児病棟は毎日が刺激的で、その後の進路が自ずと決まったように思います。NICUや産婦人科など周産期一筋に歩んできましたが、素晴らしい上司や同僚に恵まれたおかげで今の私があります。現在は、助産師として産婦人科クリニックの外来で保健指導などを行っています。このクリニックにはいくつかの特色があります。妊婦健診では妊婦さんと毎回丁寧に関わることを大切にしており、問題を抱えた妊婦さんの場合は長時間に渡ってお話を伺うこともしばしばです。また、キリスト教の精神がクリニックの医療理念になっており、人工妊娠中絶は実施していません(産婦人科クリニックで実施しないのは稀なことです)。予期しない妊娠をされた方には、出産という選択肢について模索し支援も行っていきます。素晴らしい職場に出会えましたが、問題が一つありま

す。それは、良い職場であるが故に退職者がおらず職員の高齢化が著しいことです。若くてかわいいスタッフが新採用されると院長先生の嬉しそうなお顔が心に刺さります。

また、前述した背景から外国人宣教師の方も出産されることが度々あります。日本語があまり話せない方もいらっしやるので、その際は会話や紹介状の読み書きに多少英語が必要になります。私は数年前から少しずつ翻訳の仕事もしていたので、その作業も担当しています。

翻訳の仕事では臨床研究論文を扱うことが多いのですが、昨年から今年にかけては千ページ以上ある看護技術の本を翻訳しました。翻訳中は文章の書き方、言葉の選び方など看護研究で苦労したことをよく思い出します。今はインターネットや電子辞書が普及し、調べ物や類語検索の作業効率が飛躍的に向上しましたが、訳語がしっくりこないときは一つのフレーズに三日間悩むこともあります。英語の理解だけでなく、日本語も自在に操ることができないと良い訳文にならないことを常に思い知らされます。

ように四苦八苦していますが、それでも一つに絞れない厄介な性分を持って余しています。いずれはハリーポッターのような翻訳に関われたら最高に幸せですし、老後も安泰なのですが。

学校事務職員として 学校に勤務して

食物栄養学科四十二回生
平成四年卒

櫻田 正美

(旧姓 花垣)

天使短大を卒業後、札幌市学校事務職員として勤務し二十年が経ちました。

学校事務職員は学校における財務に関する事務、職員に関する事務を主に行っています。仕事内容としては、事務職員としてだけではなく、学校職員という立場の仕事など多岐にわたり雑用も多くありますが、変化に富んでおり、やりがいのある仕事だと思っています。

学校事務職員という、栄養科とは関係のない仕事に就きましたが、短大時代の講義や実習が役立つことが何度もありました。

たとえば、給食で使用する物品を購入する場合は短大時代の実習を思い出し、何をどのように利用するか理解することも出来ます。

また私は、教職の講義も受けていたので、職員会議等で教育を語られたも、何を言っているのかわからないということはありませんでした。

私のほかにも天使短大を卒業後同じ職に就いている人もいます。また、学校という職場には、天使短大を卒業した栄養職員、栄養教諭はもちろん、教諭もおり同僚として勤務することがあります。天使短大の同窓生だとわかった時にはいつも天使短大の思い出話になります。さらに、相談に乗ってもらい、協力してもらい天使短大同窓生というつながりでも力になってもらうことが多くありました。このように、職場にいな

からは、天使短大のつながりを感じるのとはとてもうれしいものです。私はまだ職場で看護科卒の方や、天使短大卒の方に出会ったことがありませんが、いつか一緒に働ける時が来たら、今までは違った天使のつながりを感じる事が出来ると思います。

そして、これからも天使を通じたつながりを大切にしていきたいと思っています。

栄養士から夢の看護師へ

食物栄養学科三十四回生
昭和五十九年卒

竹田 みゆき

(旧姓 和田)

天使短大での、楽しかった学生生活。卒業して三十年近くたった今も懐かしく、二年間という短い時間でしたが、自分にとってかけがえのないものだったと思っております。天使大学を卒業され、全国各地で多く

の卒業生が活躍されていることは、私にとって、大きな励みであります。

私は天使短大では、食物栄養学科を卒業しましたが、現在は看護師として働いています。天使短大を卒業後、栄養士として病院で二年間勤務し、その後結婚、結婚後も一年ほど、病院栄養士として働きましたが、出産、子育てのため、専業主婦となりました。子育て中は、子育てがある程度落ち着いたら、栄養士として働くつもりで、管理栄養士の資格も取りました。しかし、三人の子育てもひと段落し、自分の時間を持てるようになった時点で、かねてから抱いていた、看護師として働きたいという気持ちが強くなり念願をかなえるため、看護学校を受験、その後四年間、看護学校で学び、現在に至っております。看護学校時代は、夫は単身赴任中で、三人の男の子を育てながら、授業、病院実習、テスト、レポート提出と息をつく暇もない程の忙しさだったことが忘れられません。四十歳で看護師としての資格をとり、現在は、地域の病院の消化器内科、外科の混合病棟で勤務しております。夢であった看護師として働くことができ、今はとても充実しております。

勤務している病院は、癌患者さんが多く、化学療法での副作用からの食欲不振、病状の悪化からの食欲不振・低栄養、術後の食事管理と食事や栄養に関わる仕事が多くあります。

今年度からは、NSTという栄養サポートチームの一員として活動させていただいています。医師、看護師、栄養士、薬剤師他、他職種のメンバーと患者さんの栄養管理を支えていく活動です。一人の患者さんのためにチームとして支える活動にとってもやりがいを感じております。栄養の専門職から長い間離れてしまっていたので、新たなことに挑戦するには、さらに学びが必要ですが、これからも、看護師としてはもちろんですが、栄養を学んだものとして、少しでも患者さんの『食』のために関わることができたらと思っています。日々、患者さんとの関わりの中で思うことは、人はお互いに支えたり、支えられたりしているのだということ。患者さんから、笑顔をもったり、生きることのすばらしさ、大切さを感じられる毎日に感謝しています。

三十年目の保健師活動を ふり返って

衛生看護学科三十三回生
昭和五十七年卒
厚生労働省老健局振興課
地域包括ケア推進官

岡 島 さおり

(旧姓 上野)

平成二十四年春、私は生まれ育った北海道を離れ、二年間の東京勤務をスタートしました。札幌市に保健師として就職してから二十八年目の転機です。派遣という名の武者修行は想像を越える異文化への突入で、

中央省庁特有の前近代的な階層と暗黙のルールに驚かされると同時に、政治的な動きも絡み、求められるものは常に高く速く、己の無知・無能を思い知らされる毎日です。着任直後の私は、言葉の通じない外国で幼稚園からやり直しを命じられたかのような状態になりました。

果たして二年間持つのかと不安になっているころ、東京周辺に住んでいる同級生がミニ同窓会を開いてくれました。一瞬にして学生時代にタイムスリップし、時の経つのも忘れるほど思い出話には尽きないものです。天使の学舎で苦楽を共にした仲間には元気づけられたがおかげで、心身の故障を来すことなく、間もなく任期満了を迎えます。

現職に就いて学んだことは、保健・医療・介護・福祉など私たちの仕事がいかに政治と直結しているかというところ、そして生活者の実態に即した政策を作るためには、実践者による実績の可視化と発信が何より重要ということでした。

政策の方向性は時に私たちの実感とかげ離れた方向に向かいますが、その検討経過に関わってみてわかったことは、どんな少数派の取組みであっても、発信力があり政策目標と合致すれば全国に適用され得ること、また、小さな取組みであっても多くの類似実績を集めて形を示すことができれば方向性は変わりうることを、そして私たち専門職は、誰かが決め

てくれるのを待つのではなく、自分が何をすべきか探求し実践し、提案すべきということでした。

私は、自分の実績よりも多職種の先行研究のデータや全国の仲間の情報に助けられ、今ここに立っています。

保健師歴三十年目にして、そもそも私が看護の道をめざすきっかけは何だったのかをふり返ってみると、二人の女性が浮かびました。

ひとりには看護師だった母親、もうひとりには高校で出会った養護教諭です。母親の存在により女性が資格を持って働くことの意義を知り、高校の保健室の先生との会話からは「予防」「環境整備」という言葉を聞いて、自分たちの健康が間接的に守られていることに気づき、他の教諭とは違う役割を持って孤軍奮闘する養護教諭の存在に心惹かれました。

こうして私は、看護師になるか養護教諭になるか決められないまま、当時、北海道内で唯一看護師と養護教諭の資格取得が可能だった天使女子短期大学衛生看護学科に入学させていただきました。少々方向転換をして保健師になりましたが、私はこの仕事を誇りに思っています。

私たちは、ひとりでは生きていけないけれど、誰かに支援されるためだけに生きていくわけでもなく、ひとりひとりが自分の人生を主体的に生きています。行政や各専門職・機関は、個人の努力で解決できない課

題にぶつかった人に、その方法や選
択肢を提示する援助者であり、制度
や政策はその手段に過ぎません。

時にこの手段が目的化し、制度を
利用する人や様々な職種・団体の間
で利権が交錯しますが、私たち専門
職は正しいことを正しく行い、ひと
りひとりの健康的な生活と地域全体
の健康レベル向上をめざすという目
的を忘れてはならないと思います。

乳幼児から高齢者までのすべての
住民が、自らの力を最大限に発揮し
て「健康的でより良い生活」を獲得
できるように、自ら支援を求めるこ
とができない人も、時に拒絶する人
も、その人が力を高めより良い自己
決定ができるように環境整備を行う
ことが行政責任だと思っています。
主役は住民です。

私はこの春から実践の場に戻り、
これまでやりっ放しだった仕事を整
理しながら、この二年間で学んだこ
とを地元住民のために還元したいと
思っています。

楽しかったクラス会
——シスター福永を囲んで——

衛生看護学科三十一回生
昭和五十五年卒

菊谷 玲子

(旧姓 廣田)

私たち衛生看護学科三十一回生は、
十数年前から三年に一回、八月の第
一土曜日にクラス会を開催してきま

した。

前回のクラス会で、本州在住の方
も参加できるよう「今回は東京で開
こうか？」ということになり、今回
は初めて内地(横浜)でクラス会を
開催しました。

参加者は、北海道組四人、本州組
七人とシスター福永の計十二名でし
た。内地で開催したことによって、
初参加のメンバーが四人。遠くは三
重県から参加してくれました。

会場があるビルの入り口がわかり
にくいから、と幹事はシスターとお
しゃべりをしながら駅からの通路で
待ち構えていたのですが、いくつも
の入り口があるため結局はほとんどの
メンバーが幹事より早く会場に着
いていました。

卒業以来、三十数年ぶりに会うメ
ンバーもいたのですが「面影がある」
どころかほとんど変わらない!!!
私たちは「同じ年代の人たちより
若いよね!」と自画自賛しました。
酔ってしまう前に写真撮影を済ま
せ、乾杯へ。

シスターは、今年喜寿(七十七歳!)
を迎えられますが、まだまだお若く
「ザイルには十五年しかいられな
かった」というお言葉に一同ビッ
クリ!しました。

クラス会が始まった頃の話は子
育てと復職が中心でしたが、年齢と
共に話題も変化し、今回は自分の体
調、仕事の悩み、家族の心配が話題

の中心となりました。

特に、現在の職場で「看護」の考
え方のギャップに戸惑っているメン
バーは、同じ看護教育を受けた仲間
と「看護」を語れることの嬉しさ、
天使で受けた「看護教育」のすばら
しさを熱く語っていました。卒業ア
ルバムを持ってきてくれたメンバ
ーもいて、それを見ながら若かりし頃
の色々な思い出話に花が咲きました。

前回(三年前)初めて仲間の訃報
を聞きましたが、残念ながら今回も
悲しいお知らせがありました。また、
今回参加できなかった人の中にも闘
病中の人がいて、あらためて
健康であることのありがたさ
を実感しました。

最後に次回の幹事を決める
というより、北海道から参加
してくれたメンバー四人にお
願いしました。
一次会は飲み放題プラン付
きでしたが、皆「天使」らし
く、乱れることなく上品に終
りました。

二次会は、同じビルの二階
上にあるその名も「北海道」
という居酒屋の「木古内」と
いう名前の部屋で十人が参加
しました。

話に夢中になりすぎて、し
ばらく注文するのも忘れてしま
うほどでした。せっかくの
「北海道」でしたが、おなか



がいっぱい食べ物あまり注文で
きませんでした。定番の枝豆やポテ
トフライをつまみながら、ここでも
約二時間のガールズ?トーク。「伊
勢神宮」の話で盛り上がり、遷宮プ
ームがひと段落付いたら「一緒に行こ
う!」と約束する人もいました。
次回は三年後の六月下旬の予定で
す。宿泊プランつきスパ? 北海道
日本ハムの応援? 色々なアイディ
アが飛び出し、どんなクラス会にな
るか? 今から楽しみです。
それでは皆さん、またお会いしま
しょう。

平成25年度

天使大学同窓会総会報告

会則第十六、十七条に基づき、平成二十五年度総会を左記のとおり開催しました。

I 総 会

日 時：平成二十五年五月十八日
(土)十一時十五分～十三時〇〇分

場 所：札幌全日空ホテル三階
鳳の間

出席者数：代議員 十三名(委任状
提出者十八名)

一般会員 四十八名
役員・委員 二十名

議 長：栄養科十七回生

小坂 知子氏

副議長：看護科二十八・専攻科十
三回生

今崎 裕子氏

議 事 (一) 報告事項

①平成二十四年度 会務・事業報告

②平成二十四年度 会計報告

③平成二十四年度 会計監査報告

(二) 審議事項

①雇用に関する会則の改正について

②平成二十五年事業計画〔案〕

③平成二十五年予算〔案〕

④維持会費について

⑤支部ブロック制について

⑥選挙管理委員、役員候補者推薦委員の承認

■報告事項

①平成二十四年度 会務・事業報告

・理事会(会長、副会長、理事にて開催) 八回

・常任理事会(会長、副会長、会計・庶務理事にて開催) 七回

・各委員会開催

・奨学金関連 奨学金検討委員会
二回 奨学生判定委員会 一回

・支部長会議

・クラス幹事会(選挙管理委員・役員候補者推薦委員の選出)

・講演会開催

・広報誌『ふらたなす』発行

・タキさんの店 七回開店、天使祭バザーの開催
・大学への支援および助成
・フィリピン・バギオへの奨学金助成

②平成二十四年度 会計報告

・別頁参照

③平成二十四年度 会計監査報告

適正に処理されていることが報告されました。

■審議事項

①雇用に関する会則の改正について

・昨年度の総会において事務職員の雇用が承認されましたが、雇用に関する会則の改正がされていなかったため、提案しました。同窓会会則第九章に『雇用 第二十九条』を追加し、付則を第十章としました。

『第九章 雇用 第二十九条 本会は、事務業務を行う職員をおくことができる。』

②平成二十五年事業計画

・例年の事業継続、

・支部活動への支援

・役員改選に向けて選挙管理委員

会、役員候補者推薦委員会の開催

・代議員選出のためのクラス幹事会開催

・代議員選出方法改正の検討

③平成二十五年予算

・別頁参照

④維持会費について

・再度検討し、次年度総会に提案することとなった。

⑤支部ブロック制について

・各支部地域に在住する同窓生への支援を強めるため、全会員がどこかの支部に所属するのかわかりさせ、各支部の会員把握が容易となるよう、支部ブロック制の導入を提案しました。

・昨年十二月に発送した『支部ブロック制について』参照

⑥選挙管理委員、役員候補者推薦委員の承認について

・昨年十二月発送の選挙公報参照
以上のとおり、承認されました。なお、総会の議事録は開示しております。ご希望の方は同窓会事務局までご連絡ください。

平成24年度一般会計収支決算書

自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日

【収入の部】

（単位：円）

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	摘 要
前年度繰越金	3,923,586	3,923,586		
1. 会 費 収 入				
①入 会 金	10,250,000	10,250,000	0	平成24年3月卒業生 205人分
②維 持 会 費	1,000,000	932,880	▲67,200	@1,000×933人分
2. 福 祉 委 員 会 収 入	250,000	270,158	△20,158	タキさんの店・バザー等 収益金
3. 寄 付 金		50,000	△50,000	栄7回生寄付
4. 総 会 懇 親 会 費		133,000	△133,000	23年度総会時懇親会〃費 @3,500×38人分
5. 受 取 利 息	2,000	24,575	△22,575	事業積立金解約利息 一般会計普通預金利息
6. 未 収 金		24,180	△24,180	会員組織委員会 前年度残郵券繰入れ分
7. 雑 収 入	3,000	15,200	△12,200	会バッジ販売収入
合 計	15,428,586	15,623,579	△194,913	

平成24年度一般会計収支決算書

自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日

【支出の部】

（単位：円）

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	摘 要
1. 事 業 支 出				
①庶 務 委 員 会	100,000	35,774	64,226	
②会 計 委 員 会	100,000	52,820	47,180	
③広 報 委 員 会	200,000	111,611	88,389	
④会 員 組 織 委 員 会	100,000	24,180	75,820	
⑤研 修 委 員 会	100,000	8,020	91,980	
⑥福 祉 委 員 会	250,000	206,764	43,236	
⑦事 業 委 員 会	100,000	22,663	77,337	
⑧各 支 部 事 業 助 成	300,000	177,000	123,000	関東・十勝・旭川支部助成
2. 一 般 管 理 支 出				
①総 会 費	700,000	793,909	▲93,909	会場費・懇親会謝礼他
②会 報 誌 発 行 費	2,000,000	1,523,506	476,494	ぶらたなす48号発行費用
③ク ラ ス 幹 事 通 信 助 成 費	100,000	4,000	96,000	
④同 窓 会 入 会 式 費	500,000	983,747	▲483,747	記念品(印鑑付ボールペン) 祝券当同窓会バッジストラップ作成1,000個
⑤奨 学 金 判 定 委 員 会 費	20,000	9,304	10,696	
⑥会 議 費				
・代 議 委 員 会 費	100,000		100,000	
・常 任 理 事 会 費	100,000	60,734	39,266	7回開催（交通費等）
・理 事 会 費	200,000	136,898	63,102	8回開催（交通費等）
・役 員 候 補 推 薦 ・選 挙 委 員 会	100,000		100,000	
・支 部 長 会 議 費	150,000	127,500	22,500	
・そ の 他 会 議 費	50,000	119,176	▲69,176	幹事会議、全体委員会交通費
⑦通 信 費	300,000	229,993	70,007	電話代・郵送料他
⑧交 通 費	100,000	90,500	9,500	支部総会等出席交通費
⑨消 耗 備 品 費	200,000	310,422	▲110,422	事務用品、コピー料、備品他
⑩慶 弔 費	100,000	66,500	33,500	大学行事お花代、弔電料他
⑪支 払 報 酬 費	1,200,000	540,420	659,580	事務局・庶務業務アルバイト代
⑫デ ー タ ベ ー ス 管 理 費	150,000	55,377	94,623	名簿データメンテナンス他
⑬雑 費	20,000	10,278	9,722	残高証明、送金手数料他
⑭使 用 料 (室 料)	300,000	300,000	0	同窓会室・調理室
3. 寄 付 金 支 出				
寄 付 金 (バ ギ オ)	250,000	270,000	▲20,000	福祉部収益金
震 災 義 捐 金 他	1,000,000	0	1,000,000	
4. 助 成 金 支 出				
大 学 ク ラ ブ 助 成 金	300,000	91,959	208,041	全国大会出場助成・体育祭飲み物
5. 積 立 金 支 出				
事 業 準 備 積 立 金	5,000,000	5,000,000	0	
6. 未 払 金	150,000	0	150,000	
7. 予 備 費	1,085,586	936,377	149,209	パソコン購入・同窓会室改装費他
合 計	15,425,586	12,299,432	3,126,154	

(次年度繰越金) = 当期収入合計 - 当期支出合計

15,623,579 - 12,299,432 = 3,324,147

平成24年度特別会計収支決算書

自 平成24年 4月 1日 至 平成25年 3月31日

【収入の部】

(単位：円)

科 目	特別会計Ⅰ(奨学金)	特別会計Ⅱ(前受金)	摘 要
前年度繰越金	5,098,980	40,426,299	
1. 会 費 収 入			
①前 受 金		10,450,000	平成24年度入学生 @50,000×209人分
2. 奨 学 金 事 業 繰 入 収 入	10,000,000		事業積立金より
②貸付金返金	270,000		
3. 雑 収 入			
③受取利息	1,611	9,807	
合 計	15,370,591	50,886,106	

【支出の部】

(単位：円)

科 目	特別会計Ⅰ(奨学金)	特別会計Ⅱ(前受金)	摘 要
1. 前 受 金 支 出			
①入 会 金		10,250,000	20年度入学生205人分
②退学者返金		0	一般会計繰入れ
2. 貸 付 金 支 出			
①奨学金貸与	240,000		
3. 雑 費			
③振込手数料	840		
合 計	240,840	10,250,000	

(次年度繰越金) = 収入総額 - 支出総額

【特別会計Ⅰ(奨学金)】 15,370,591 - 240,840 = 15,129,751

【特別会計Ⅱ(前受金)】 50,886,106 - 10,250,000 = 40,636,106

一般会計財産目録

平成25年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
資 産 の 部		
流動資産	711,568	
現金		
預貯金		
北洋銀行普通預金	2,612,579	
郵貯銀行振替口座	2,336,500	
流動資産合計		5,660,647
固定資産	28,053,421	
北洋銀行定期預金(事業積立金)		
固定資産合計		28,053,421
資 産 合 計		33,714,068
負 債 の 部		
流動負債	0	
未払金		
固定負債		
負債合計		0
正味財産		33,714,068

※事業準備積立金 預金利息4,614円 含む

25年度一般会計予算

自 平成25年 4月 1日 至 平成26年 3月31日

【収入の部】

(単位：円)

科 目	前年度予算額	25年度予算額	増 減 額	摘 要
前年度繰越金	3,923,586	3,324,147	▲599,439	北洋普通預金、現金
1. 会 費 収 入				
①入 会 金	10,250,000	9,950,000	▲300,000	平成25年3月卒業生@50,000×199名
②維持会費	1,000,000	1,000,000		1000名×@1,000
2. 福社委員会収入	250,000	250,000		タキさんの店・バザー等 売上金
3. 受 取 利 息	2,000	2,000		預金利息
4. 雑 収 入	3,000	0	▲3,000	
合 計	15,428,586	14,526,147	▲902,439	

平成25年度一般会計予算

自 平成25年 4月 1日 至 平成26年 3月31日

【支出の部】

(単位：円)

科 目	前年度予算額	25年度予算額	増 減 額	摘 要
1. 委員会事業支出				
①庶務委員会	100,000	100,000	0	
②会計委員会	100,000	100,000	0	
③広報委員会	200,000	200,000	0	
④会員組織委員会	100,000	50,000	▲50,000	
⑤研修委員会	100,000	50,000	▲50,000	
⑥福祉委員会	250,000	250,000	0	
⑦事業委員会	100,000	100,000	0	
⑧各支部事業助成	300,000	700,000	△400,000	
2. 一般管理支出				
①総 会 費	700,000	700,000	0	会場費・交通費・懇親会他
②会報誌発行費	2,000,000	2,000,000	0	「ふらたなす」発行・発送費
③クラス幹事通信助成費	100,000	50,000	▲50,000	
④同窓会入会式費	500,000	500,000	0	記念品(バッチ・印鑑付きボールペン)
⑤奨学金判定委員会費	20,000	20,000	0	会議費・交通費
⑥会 議 費				
・クラス幹事・代議員会費	100,000	100,000	0	会議費・交通費
・常任理事会費	100,000	100,000	0	会議費・交通費
・理事会費	200,000	200,000	0	会議費・交通費
・役員候補推薦・選挙委員会費	100,000	100,000	0	会議費・交通費
・支部長会議費	150,000	150,000	0	会議費・交通費
・その他会議費	50,000	50,000	0	定期以外の開催会議費・交通費
⑦通 信 費	300,000	300,000	0	電話代・パソコン管理費
⑧交 通 費	100,000	100,000	0	行事参加時等の交通費
⑨消 耗 備 品 費	200,000	200,000	0	事務用品・コピー用紙等
⑩慶 弔 費	100,000	100,000	0	大学行事の花代・祝電・会員弔電料
⑪支 払 報 酬 費	1,200,000	1,200,000	0	事務職報酬・庶務業務パート料
⑫データベース管理費	150,000	100,000	▲50,000	
⑬ホームページ制作費		400,000	△400,000	
⑭雑 費	20,000	20,000	0	
⑮使 用 料	300,000	300,000	0	同窓会室10万・調理室20万
3. 寄付金支出				
バギオ寄付金	250,000	250,000	0	
災害義捐等寄付金	1,000,000	500,000	▲500,000	
4. 助成金支出				
大学クラブ助成金	300,000	300,000	0	クラブ大会助成・体育祭時飲物
5. 積立金支出				
事業準備積立金	5,000,000	4,000,000	▲1,000,000	
6. 未 払 金	150,000	300,000	△150,000	退学者返金 6名分
7. 予 備 費	1,085,586	936,147	▲149,439	
合 計	15,425,586	14,526,147	▲899,439	

平成25年度特別会計予算

自 平成25年 4月 1日 至 平成26年 3月31日

【収入の部】

(単位：円)

科 目	特別会計Ⅰ(奨学金)	特別会計Ⅱ(前受金)	摘 要
前年度繰越金	15,129,751	40,636,106	
1. 会 費 収 入			
①前 受 金		10,000,000	平成25年度入学生 @50,000×200人
2. 繰入金収入			
③貸付金返金	360,000		
3. 雑 収 入			
④受 取 利 息	1,000	20,000	
合 計	15,490,751	50,656,106	

【支出の部】

(単位：円)

科 目	特別会計Ⅰ(奨学金)	特別会計Ⅱ(前受金)	摘 要
1. 前受金支出			
①入 会 金		9,950,000	24年度卒業生199名分 一般会計繰入れ
2. 貸出金支出			
②奨学金貸付	1,800,000		@300,000×6人分
3. 雑 費			
③振込手数料	5,100		@850×6人分
合 計	1,805,100	9,950,000	

特別会計 I (奨学金) 財産目録

平成25年 3 月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
資 産 の 部		
流動資産		
預貯金		
北洋銀行普通預金	15,129,751	
流動資産合計		15,129,751
資産合計		15,129,751
負 債 の 部		
流動負債	0	
固定負債		0
負債合計		0
正 味 財 産		15,129,751

特別会計 II (前受金) 財産目録

平成25年 3 月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
資 産 の 部		
流動資産		
北洋銀行普通預金	10,422,293	
流動資産合計		10,422,293
固定資産		
北洋銀行定期預金	30,213,813	
固定資産合計		30,213,813
資産合計		40,636,106
負 債 の 部		
流動負債		
未払金	0	
固定負債		0
負債合計		0
前受金内訳		
①平成21年度入学生 (199人)	9,950,000	
②平成22年度入学生 (194人)	9,700,000	
③平成23年度入学生 (204人)	10,200,000	
④平成24年度入学生 (209人)	10,450,000	
前受金合計	40,300,000	
正 味 財 産		40,636,106

※普通預金・定期預金預金利息計 336,106円

備品報告書 平成25年 3 月31日現在

備 品	個 数
銀 行 印	1
会 長 印	2
選挙管理委員長印	1
電 話	1
パ ソ コ ン	3
プリンター／コピー／FAX機	1
耐 火 金 庫	1
鍵 付 書 棚	3
鍵 付 机	2
会議用テーブル	1
冷 蔵 庫	1
ロ ッ カ ー	2
整 理 タ ンス	1

平成26年度 同窓会総会・懇親会のお知らせ

- 会場——札幌全日空ホテル (札幌市中央区北3条西1丁目 ☎011-221-4411)
総会 3階 鳳の間／懇親会 3階 祥雲の間
- 日時——平成26年5月10日(土)
- 総会受付— 10:00～
- 総会—— 10:30～12:30
- 懇親会—— 12:45～14:30
- 会費—— 4,000円 (当日、受付時にお支払いいただきます。)
- 申込み—— 4月21日(月)必着 (同封のハガキにてお申込み下さい)
申込み後の取消しは、4月30日(水)までをお願いいたします。
その後の取消しの場合は、後日、会費 (4,000円) を頂戴いたします。
- 連絡先—— 天使大学同窓会室 TEL/FAX (011-712-1088)

※当日の参加申し込みはご遠慮ください。

平成26年度の 大学祭の日程について

平成26年6月13日・14日に開催します
同窓生の皆様どうぞ足をお運びください。
尚、同窓会のバザーは14日(土曜日)です。

大学からの
お知らせ

広報委員会から
「ふらたなす」に
関するお願い

何時も同窓会広報誌「ふらたなす」にご声援いただき感謝しております。委員一同何とかしてより読みやすい充実した広報誌をと思いい力を合わせ編集に励んでおります。

さて、編集上次のことに付きまして同窓会会員の皆様にご協力頂けますと、編集がスピードアップしますのでお願いいたします。

一 お悔やみに関するものはその年の十二月末日で編集しますので、クラス代表の方は同窓会室へメール又は電話かはがきでお知らせください。FAXでも結構です。

二 同窓会誌に原稿をお寄せください。同期の皆様との絆は一年に一回発行の同窓会誌が繋がります。その時には、どうかご自分の学科と卒業期をお書きください。

三 同窓生の皆様のご活躍の様子や、栄誉を受けられたニュース等お知らせください。広報委員会として取材させて頂き広く誉れを同窓生の皆様にお知らせしたいと思っています。

四 「ふらたなす」が郵便局から「転送」で届いた場合は、事務局へ住所をお知らせください。

支部ブロック制について

同窓会の支部体制として、今年度からブロック制が導入されました。昨年12月の選挙公報に同封しましたが、担当地域表と、各ブロックの連絡担当者をもう一度お知らせいたします。

ご確認ください。

支 部 名	支 部 長 お よ び		連 絡 担 当 者 名	
	役 職 名		〒	電 話 番 号
	卒 期	氏 名	住 所	
関 東 支 部	支 部 長			
	看 24 専 9	椎 名 喜美江		
関 西 支 部	連 絡 担 当			
	看 25	吉 岡 京 子		
北 石 狩 支 部	連 絡 担 当			
	看 41	斉 藤 香奈絵		
	看 43	北 森 久美子		
南 石 狩 支 部				
渡 島 ・ 桧 山 支 部	支 部 長			
	栄 10	鈴 木 み の り		
十 勝 ・ 日 高 支 部	支 部 長			
	看 28	宮 坂 陽 子		
宗 谷 支 部	支 部 長			
	栄 10	倉 洋 子		
釧 路 ・ 根 室 支 部	支 部 長			
	栄 21	前 田 涼 子		
上 川 ・ 留 萌 支 部	連 絡 担 当			
	栄 15	中 島 崇 子		
後 志 支 部	連 絡 担 当			
	厚 12	若 狭 紀 美 子		
オ ホ ー ツ ク 支 部	連 絡 担 当			
	栄 17	北 中 順 子		
空 知 支 部	連 絡 担 当			
	看 22 専 7	竹 田 伸 子		
胆 振 支 部	連 絡 担 当			
	看 23	山 内 陽 子		

会員のおくやみ

心よりご冥福をお祈りします

衛生看護科三十一回生

市川 淑子 様

平成二十二年八月三日ご逝去

専攻科八回生

久保田 千春 様

平成二十四年四月十二日ご逝去

栄養科十三回生

今井 泉 様

平成二十四年五月四日ご逝去

厚生科八回生

御園生 緑 様

平成二十四年六月二十三日ご逝去

栄養科二回生

沢田 喜美 様

平成二十四年九月ご逝去

衛生看護科三十一回生・専攻科十六回生

佐藤 里美 様

平成二十四年九月二十一日ご逝去

助産十回生

福田 美津枝 様

平成二十四年十二月四日ご逝去

栄養科十一回生

品川 美智子 様

平成二十四年十二月五日ご逝去

栄養科五回生

越川 久美子 様

平成二十五年一月十九日ご逝去

栄養科十六回生

砂金 郁子 様

平成二十五年一月二十八日ご逝去

厚生科六回生

三枝 希恵 様

平成二十五年二月七日ご逝去

厚生科九回生

野村 満仁子 様

平成二十五年二月八日ご逝去

厚生科十一回生

渋谷 順子 様

平成二十五年二月二十六日ご逝去

栄養科十八回生

小山田 太香恵 様

平成二十五年四月二十五日ご逝去

衛生看護科五十二回生

村上 杏子 様

平成二十五年四月二十八日ご逝去

栄養科二十四回生

浜谷 真知子 様

平成二十五年六月十日ご逝去

厚生科九回生

高松 佳子 様

平成二十五年六月二十六日ご逝去

栄養科十五回生

金森 恵美子 様

平成二十五年七月十八日ご逝去

栄養科十回生

角田 淑子 様

平成二十五年七月十九日ご逝去

厚生科二回生

吹上 友子 様

平成二十五年九月二十八日ご逝去

衛生看護科二十一回生

深川 裕子 様

平成二十五年十月一日ご逝去

厚生科八回生

中林 美恵子 様

平成二十五年十月十日ご逝去

厚生科十七回生

河本 八重 様

平成二十五年十一月四日ご逝去

栄養科十五回生

田中 富子 様

(シスター) 平成二十五年十一月二十九日ご逝去

助産一回生

河井 美代 様

(ご逝去日不明)

助産一回生

高橋 節子 様

(ご逝去日不明)

弔電費の負担

同窓会を代表して弔電を打つ場合は、二〇〇〇円を同窓会で負担致します。弔電の差出人名は必ず「天徳大学同窓会」と明記してください。領収書を同窓会会計宛に郵送くださると、お支払い致します。

『同窓会事務局へのご連絡について』

同窓会室には、週四日、パート職員が勤務しておりますが、不在の場合は、下記連絡方法にて、ご氏名・連絡先をお知らせください。後日、こちらからご連絡させていただきます。

編集後記

早いもので、一期三年目を迎えた最後のぷらたなすを発行し終えた今、肩の荷を降ろしてホッと息。四十九号を同窓会員の皆様のお手元に届けることが出来、心より会員の皆様の同窓会活動に対するご協力とご支援に感謝しています。四十九号の出来栄えは如何でしたでしょうか？ 委員さんの協力でここまで仕上げる事が出来ました。仕事をしながらの委員会活動はなかなか大変でしたのに、本当に精力的に仕事をさせて頂き、雪解けとともにお手元に届けることが無事出来ました。この広報誌が同窓会との絆を深めて頂く一助になればと広報委員会一同願っております。

原稿を寄せてくださいました学長様はじめ同窓生の皆様並びに大学関係者の皆様にご心より感謝いたします。

広報担当理事

厚生科十三回生

仙庭 ミナ

同窓会ホームページ (http://www.tenshi-dousokai.org/)

tenshi_dousokai@yhb.ne.jp

メールアドレス 〇一七二二一〇八八

電話/FAX

〇一七二二一〇八八

なお、住所の変更は、同窓会ホームページからご連絡いただけますので、そちらの方もご利用ください。